

日比谷公園大音楽堂 事業計画書

東京南部パークスグループ

目 次

I 支出計画

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

- (1) 日比谷公園大音楽堂の管理運営における基本理念
- (2) 指定管理者の責務

2 人員配置計画等

- (1) 人員配置計画
- (2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担
- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

3 運営管理計画

- (1) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組
- (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法
- (3) 都民協働や地域コミュニティとの連携による施設の魅力や地域の価値の向上につながる取組
- (4) 施設の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案
- (5) 共生社会の実現に向けた取組

4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組
- (2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組
- (3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組
- (4) 公園が持つ緑への特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

I 支出計画

単位:千円

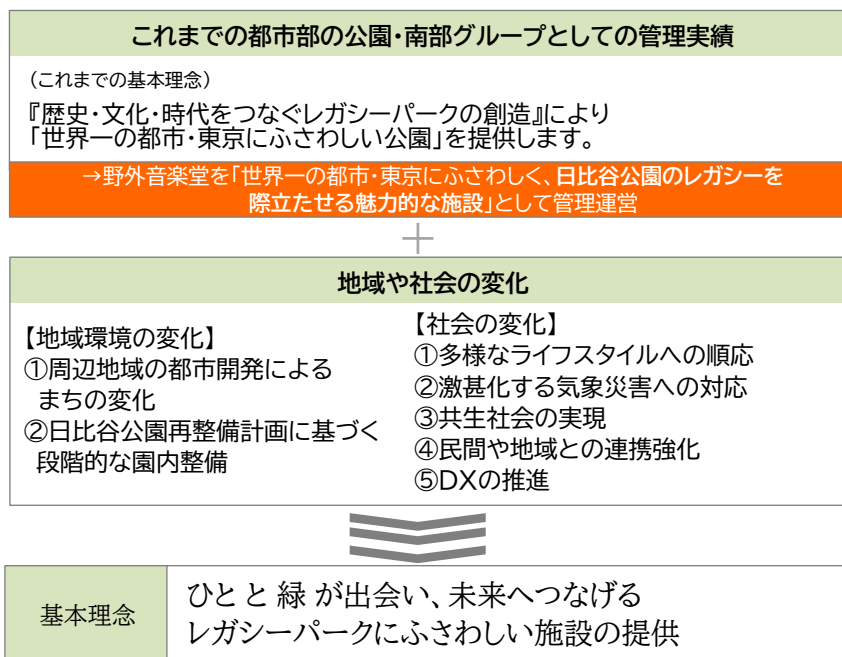
年 度	提案額
令和6年度	29,548
令和7年度	35,849
計	65,397

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

(1) 日比谷公園大音楽堂の管理運営における基本理念

私たちはこれまでの管理運営の中で、日比谷公園大音楽堂を「貴重な遺産」として、継承してきました。この実績を踏まえ引き続き、「パークマネジメントマスタープラン」、「東京グリーンビズ」、「『未来の東京』戦略」に基づく、利用者、地域、企業、学校など多くの人々が施設で出会い、各催事の有する個性を引き出す施設運営、感染症に備えた新しい安全で安心な運営のスタンダード化に努めます。さらには、公園と公園周辺のまちの魅力を高める施設のひとつとして管理運営に努めます。



<各構成員の役割>

代表団体である東京都公園協会が、構成団体である大星ビル管理と共立とともに、これまでの経験と専門性を活かした一体的で安定感のある効率的なマネジメントを行います。

		概要	役割
代表 団体	公益財団法人 東京都公園協会	日比谷公園等の都立公園・施設の管理実績やノウハウを活かし、代表団体として管理運営を統括します。	・本グループ事業の統括 ・植栽管理
構成 団体	大星ビル管理 株式会社	公共・民間施設の豊富な施設維持管理実績を有し、日比谷公園大音楽堂現管理者として、90・95・100周年事業や日比谷音楽祭を成功させたイベントコーディネート力を活かし、3代目日比谷公園大音楽堂の総仕上げとしてのファイナルコンサートに取組みます。	・マネジメント統括 ・施設維持管理
	株式会社 共立	豊富なホール管理運営実績を有し、日比谷公園大音楽堂の長年の管理経験と専門的な舞台運営技術を基に、音楽文化発信拠点として更なる歴史的価値向上に取組みます。	・施設管理運営 ・舞台管理

(2) 指定管理者の責務

公の施設の管理運営を行う指定管理者として、法令や条例等に基づいて適切に管理運営を実施するとともに社会的責任を積極的に果たす取組に努めます。

1. 安全・安心に利用できる公園内施設づくり

- ・関係法令を遵守しつつ、適切な巡回・安全点検等により、日比谷公園大音楽堂に係る事故を未然に防止するとともに、防犯の観点からの環境整備に努め、安全・安心な公園内施設づくりを行います。

2. 公平・公正で平等な利用の機会を確保した管理運営

- ・利用者に対して常に平等な利用機会を提供するとともに、個人情報管理の徹底と事務の適正化に努め、公平・公正な管理運営にあたります。
- ・外国人や高齢者、障がい者等を含め、誰もがいつでも安全・快適に利用できるよう、障害者差別解消法にかかる令和6年4月1日からの合理的配慮の提供義務化も踏まえ、バリアフリー、ユニバーサルデザインに留意した施設管理及び利用者サービスの提供・情報発信に努めます。
- ・特定の国籍や民族を誹謗中傷し、排斥する言動（ヘイトスピーチ）は人々に不安・嫌悪感を与えるほか、人の尊厳を傷つけ差別意識を生む等、許される行為ではありません。施設利用者が、国籍や文化の違いを理解しあい、お互いを思いやれるよう、人権についての意識啓発に取り組めます。

3. 効率的・効果的で質の高い管理運営の実現

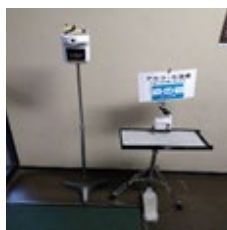
- ・施設利用者の声、苦情・要望等について集約、整理、蓄積、分析し、共有化することでの確なフィードバックを可能とします。新技術等の導入や開発により管理技術の高度化を図るなど、PDCA サイクルに基づく業務改善の継続により、質の高い管理運営を実現します。
- ・常に省エネ、環境安全性に配慮し、施設の管理運営に支障をきたさないための維持管理を継続します。
- ・樹木等植栽管理には、公園管理ノウハウも取り入れ、効率的で効果的な維持管理を行っていきます。

4. 危険性の高い感染症等の流行への対策

- ・新型コロナウイルス感染症拡大時に実施した「三つの密（密集・密接・密閉）」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策等のノウハウを活用し、感染の拡大予防と終息後の早急かつ確実な復帰に努めます。
- ・感染の再拡大がみられる場合には、東京都との常に密なる連携の下、速やかに効果的な感染対策等を講じていきます。



<密を回避した抽選会>



<検温・消毒>



<ソーシャルディスタンスを確保した入場>

このページは空白です

2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

ア 総括表 (単位：人)

管理組織(公園名等)	雇用形態			備考
	常勤職員	非常勤職員	その他（具体的に）	
本社等				
日比谷公園大音楽堂	5	5		
計	5	5		

※各管理組織の雇用形態の内訳を記入してください。常勤とは週 40 時間程度勤務し貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。
非常勤職員は、パート、アルバイトなど臨時に契約する職員とします。
※「本社等」の欄には、貴団体の本社等統括組織に配置する公園管理に係る人員を記入してください。

[illegible]

- ※1 枚 1 施設として作成してください。
- ※職員一人ごとに記入してください。
- ※役職については、施設を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。
- ※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。
- ※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。
- ※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。
- ※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 職員ローテーション表

∞

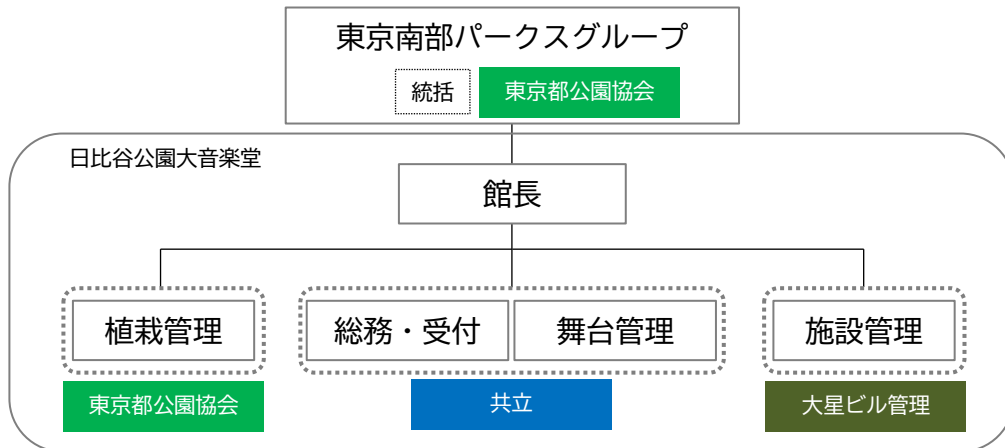
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
統括・総務・受付	館長			出	出	出	出	出			出	出	出	出	出			出	出	出	有	出			出	出	出	出	出			出
	受付責任者（副館長）	出	出		有	出	出		出	出		出	出			出	出	出	出		出	出	出	出		出		出		出	出	
	受付業務担当者	出	出	出	出			出	出	出	出				出	出	出		有	出	出		出	出	出				出	出	出	出
	受付業務担当者(非常勤)		出	出		出	出					出		出	出							出					出					出
	会計担当者(非常勤)					出						出									出						出					
	ポスト/日	2	3	3	2	4	3	2	2	2	2	4	2	2	3	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3
舞台管理	舞台責任者（副館長）	出	出		出	出		出	出	出		有	出	出		出	出		出	出		出	出	出			出	出		出	出	
	舞台担当者	出	出		出	出	出		出	出		出	有	出	出	出	出			出	出		出	出		出	出		出	出	出	
	舞台代務者(非常勤)	必要に応じて、年 15 回程度																														
	施設管理者(非常勤)			出				出			出				出			出				出			出				出			出
	施設管理者(非常勤)			出				出			出				出			出				出			出				出			出
	ポスト/日	2	2	2	2	2	1	3	2	2	2	1	1	2	3	2	2	2	1	2	1	3	2	2	2	1	2	1	3	2	2	2
合計	常勤	4	4	2	4	4	3	3	4	4	2	3	3	3	3	4	4	2	3	4	3	3	4	4	2	3	3	3	3	4	4	2
	非常勤	0	1	3	0	2	1	2	0	0	2	2	0	1	3	0	0	2	0	1	1	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	3

このページは空白です

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

1. 基本的な考え方

共同事業体組織図のとおり、東京都公園協会が当共同事業体を統括し、館長を現場の最高責任者として、利用者や施設に合わせた組織体系、人員配置とすることで効率的かつ効果的な組織としています。



(1) 統括組織

- ・東京都公園協会が当共同事業体を統括し、東京都との代表窓口になります。
- ・館長は現場の最高責任者として、各業務部門（植栽管理、総務受付・舞台管理、施設管理）の責任者と常に連携を密に図ります。

(2) 植栽管理

- ・施設内の植栽は適切に維持管理します。特に客席に位置する樹木は、落枝等を未然に防ぐ安全・安心を最優先した管理を行います。
- ・施設の高木を活かし、公園内の樹木との一体感ある良好な樹木景観を維持することで「東京グリーンビズ」に貢献します。

(3) 総務・受付

- ・平等・公平な利用の確保とホスピタリティマインドに基づき、利用規則（ルール）の周知徹底や確実な予約手順・徴収事務を実施します。また、ホームページや広報など各種情報公開・発信や自主事業企画などの実務面を担います。
- ・音楽文化の発信拠点としての再生に向けた取組では、利用促進、利用者サービスの向上、施設の魅力アップ、マスコミへの働きかけ、日比谷音楽祭実行委員会を事務局の立場で支える等、中心的な役割を果たします。

(4) 舞台管理

- ・ホール利用者の安全確保と老朽化した舞台装置の機能発揮を担います。また、利用者との事前打ち合わせに基づき、適正な配置を計画し、必要に応じて臨時スタッフを増員するなど稼働状況と催事内容を十分に考慮した適正管理を行います。
- ・日比谷音楽祭、日比谷野音オープンデーをはじめとした自主事業、日常利用者へのサービスの向上について、運営面から中心的な役割を担います。

(5) 施設管理

- ・利用者や来場者の安全確保を最優先に、老朽化した施設の機能確保と安全供給を行います。また、利用者に魅力ある施設を目指し、快適性・利便性と資産価値向上に向けた維持管理を行います。
- ・日比谷公園大音楽堂の老朽化設備の一部改修業務について、中心的な役割を担います。

2. 平常時・夜間・緊急時の対応

(1) 平常時

- ・常に共同事業体と現場が密接な連絡体制のもと、スピード感をもって対応します。
- ・東京都公園協会は指定管理業務全般に関する東京都との窓口となり、要望・苦情に対する統括及び各構成団体との情報共有を図ります。

(2) 夜間・早朝時

- ・警察や消防などの関係機関と密接に連携し、24 時間 365 日いつでも対応できる体制を構築します。
- ・年末年始や夜間・早朝等の管理所閉所時に、施設被害をはじめとした事故が発生した場合は、館長や各部門責任者及び大星ビル管理（本社内）中央管理センター要員（24 時間 365 日対応）が現場に急行し、スピード感をもって対応し、状況に応じて速やかに東京都へ報告します。

(3) 緊急時：気象災害時等の対応

- ・台風・大雨等の気象災害の対応にあたっては、東京都公園協会に気象災害対策本部を設置し、気象災害対策計画書に基づき、対応します。
- ・気象情報会社の「気象警報等予測配信システム」でスピーディーな情報把握と関係者への共有を行います。
- ・感染症等の社会的影響を及ぼす事案及び緊急・重大事故等については、東京都公園協会に対策本部を設置して組織を挙げて対応し、事案によっては、東京都の指示を仰ぎながら慎重に対応します。

(4) 緊急時：震災時等の対応

- ・震災発生時は、「震災対応マニュアル」に基づき、震度に応じた初動対応を開始します。
- ・震災発生が夜間等勤務時間外の場合、震度に応じて、日比谷公園大音楽堂へ複数職員が参集し、現場対策班を立ち上げ、被害状況把握、安全確保、避難者等支援・指導、報告等を行います。
- ・東京都及び東京都公園協会及び日比谷公園との間の通信網については、MCA 無線等により迅速・的確な報告・連絡を行います。

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

1. 人材確保・人材配置の考え方

- ・職員の能力に配慮し、スキルを持つ職員の継続雇用等により、業務の継続性を確実に担保し、サービスレベルを維持します。
- ・公の施設の職員にふさわしい心構えやホスピタリティのある人材を雇用し、快適で利用しやすい施設を提供します。
- ・担当分野の専門知識を有するプロフェッショナルな人材を配置し、利用者の相談や要望に的確かつ迅速に対応できる組織体制とします。

2. 職員の技術・能力向上の取組

- ・公の施設である日比谷公園大音楽堂の職員は、接客能力や安全教育などの運営管理の基本的な能力を幅広く身に付けることはもちろん、各専門分野のプロフェッショナルとして常に技能の研鑽に励む必要があることから、下記に示す研修・講習を定期的実施し、業務品質を担保します。

(1) 基本研修（各業務の専門性を踏まえ、各団体基準にて個別対応）

- ・指定管理業務のサービスレベルを担保するため、常勤・非常勤を問わず利用者対応をはじめとした基本的研修を実施します。特に利用者と直に接する窓口業務における接遇に関する研修により、利用者が快適に施設を利用できる環境を提供します。

(2) 防災訓練等

- ・初期消火や避難誘導等緊急時の対応確認、消防設備研修を定期的に行い、全職員が、万一の施設火災発生時に、冷静に適切に対応できる体制を整えます。

(3) 上級研修

- ・日比谷公園大音楽堂の利用者や来場者はもちろん、日比谷公園全体や近隣各所とも連携した各種訓練を積極的に実施し、安全な環境を確保・提供できる体制を整えます。

(4) 専門研修

- ・担当業務ごとの専門知識を深めるための研修を、共同事業体各団体の本部機能により実施します。日常的な施設利用から大規模イベントまで幅広く利用される日比谷公園大音楽堂において、都民や音楽プロモーター、プロのアーティストなどあらゆる水準の利用者に対応できる最新のスキルを常に習得し提供します。

種別	研修・講習名	内容	回数	対象者
基本研修	マナー・接遇研修	一般マナー、利用者対応に関する基礎的内容等	年1回	全職員 (非常勤含む)
	コンプライアンス研修	関係条例や個人情報保護など業務上必要な知識の習得等	年1回	
	安全研修	危険箇所の確認・把握 対応策と利用者対応の確認等	年1回	
防災訓練等	非常時研修 (消防訓練)	防火防災訓練、緊急時の対応確認、自衛消防の知識習得等	年2回	
	消防設備研修	各種消防設備の基本操作の確認等	年2回	
上級研修	救命技能認定講習	怪我人・急病人の応急処置、 通報・報告方法の確認等	更新時 随時	常勤職員
専門研修	専門技能養成講習	各担当業務に関する技能の 習得等	随時	対象の 業務従事者

3 運営管理計画

(1) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1. 利用促進

(1) 広報宣伝

- ・施設利用の申し込みに先立って利用方法等の下調べの際に、多くの利用者に利用されているホームページの利便性向上に、引き続き積極的に取り組んでいきます。
- ・ホームページ等のデジタルツールを活用していく一方、パンフレットなどの紙媒体による情報提供も継続します。ホームページと同様、日比谷公園大音楽堂のイメージや伝統など施設の特色を前面に打ち出したデザインに留意し、具体的な利用方法を総合的にご案内できるよう随時見直し、改良を重ねます。



パンフレット(左)とホームページ(右)

(2) リピーターの確保

- ・利用者に引き続き今後も継続して利用していただけることは、施設の利用率の維持・向上にとって最も重要であると考えます。当事業体は今後も利用者との直接的なコミュニケーションを重視し、信頼関係を構築するための細やかで快適なサービス提供に努めます。

(3) 新規利用者獲得の取組

- ・平日の音楽会開催の実現に向けた取組においては、音楽事業者やプロモーター等との幅広いネットワークや舞台管理・イベントの空間演出において国内トップクラスである構成団体のノウハウ等を活用し、東京都と連携して引き続き積極的に取り組んでいきます。

(4) 利用者サービスの向上

- ・利用者からの相談並びに要望を踏まえて、施設の特性を活かした利用方法等につき、アドバイスをを行う等、利用者サービスの向上に引き続き取り組みます。

(5) DXを活用した利便性向上

- ・「日比谷音楽祭 2023」では、マップと GPS を連動させ所在地や各会場をスマートフォンで確認できる「ストローリー（オンラインマップ）／日比谷音楽祭うごく超便利マップ 2023」を導入しました。
- ・日比谷公園の見所や魅力をいっぱい盛り込んだコンテンツの掲載やイベント開催状況、フードの販売情報、プログラムのアップデート情報や会場の混雑状況など、来場者に役立つ情報を発信しました。今後もDXを活用した利便性向上に努めます。

2. 感染症等の流行により、集合型のイベントを実施できなかった場合の代替の取組

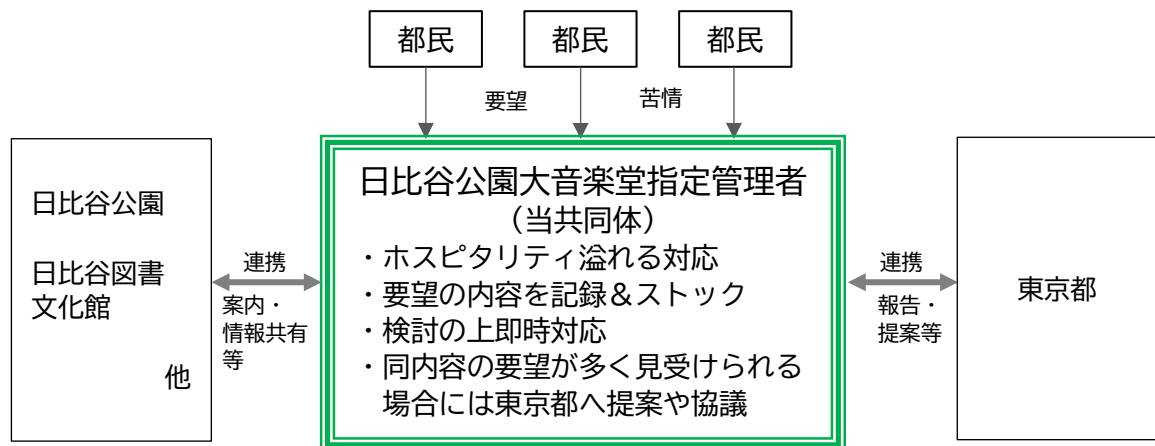
- ・政府の緊急事態宣言発令と東京都からの公園内複数施設の使用自粛要請を受け開催中止となった「日比谷音楽祭 2020」では、急遽、開催日にあたる 5 月 30 日に「日比谷音楽祭 2020 ON RADIO/ONLINE」としてラジオの生放送を実施しました。
- ・「日比谷音楽祭 2021」は、前年の経験を踏まえ、有観客を基本としつつも、2日間にわたりオンラインによる生配信も同時に行う等「ハイブリッド開催」を企画・準備しました。残念ながら緊急事態宣言の延長に伴い、全てネット配信会社による無観客生配信の開催に変更となりましたが、視聴者数（2 日間延べ約 15 万人）、総再生回数（51 万 7000 回）の結果は、過去最高の実績でした。
- ・今後も上記ノウハウを活かし、柔軟に代替の取組を行っていきます。

(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

1. 要望・苦情等の把握と反映

要望・苦情等に対してはその内容を真摯に受け止めるとともに、公の施設としての公共性や公平性の観点から十分に検討し、スピード感をもって対応します。

要望・苦情等の内容については、その必要性に応じて適宜東京都に報告し、その内容や対応を分析・ストックすることで、同類事例への対応スピードの向上に活かします。



2. 要望への対応

- ・より良い施設であるために利用者から寄せられた要望については、十分な検討のもと可能な限り業務に反映できるよう努めます。また、利用者との日常的なコミュニケーションを重視し、日ごろから直接的に要望を吸い上げる意識を常に持って業務に当たります。

3. 苦情への対応

(1) 苦情の未然防止

- ・「マナー・接遇研修」やマニュアルをもとにした適切な利用者対応により、そもそも苦情が発生しない業務実施を常に心がけます。

(2) 苦情発生時の対応

- ・苦情の内容に対して真摯に向き合うことを前提に、冷静に内容を把握・精査します。
- ・苦情は組織に対して寄せられているものであるという認識のもと、内容を正確に記録し、迅速かつ的確に対応します。

(3) 素早い対応と適切な報告

- ・利用者の権利と公の施設としての公平性の観点を重視し、適切かつスピーディーに対応します。内容によっては専門家や関係機関等の協力を仰ぎながら対応し、適宜東京都へ連携・報告します。また対応事例は全スタッフで共有・データ化し、業務の見直しやマニュアルへの反映を適宜行います。

4. 要望・苦情等への対応事例

- ・館長及び副館長の判断の下、泥酔者の救急車要請対応を行い、迅速に東京都へ報告しました。
- ・音への苦情に関しては、都度主催者に音量低減を要請するなど適切に対応しました。
- ・日比谷公園大音楽堂管理所閉所時においても、館長及び副館長間等の連絡体制を24時間維持しました。

(3) 都民協働や地域コミュニティとの連携による施設の魅力や地域の価値の向上につながる取組

日比谷公園と連携した周年記念事業「日比谷 115th&野音 95th Anniversary Event」を足掛かりに、翌年からは日比谷音楽祭を開催しています。

初開催の「日比谷音楽祭 2019」では、日比谷図書文化館や隣接する東京ミッドタウン日比谷をサテライト会場として実施。コロナによる無観客開催等を経て、「日比谷音楽祭 2023」では、さらに地域との連携を進め、街の一体感や新たなにぎわいを創出しています。

今後もこれまでの実績を踏まえて、さらに地域との連携強化を図ることで、魅力的な自主事業を実施し、日比谷公園大音楽堂の魅力や地域の価値の向上につなげていきます。



日比谷音楽祭サテライト会場
(東京ミッドタウン日比谷)

←日比谷音楽祭 2023 マップ
多数の施設がサテライト会場として参加

日比谷野音100周年記念事業

- ・令和5年4月15日のオープニングセレモニーを皮切りに11月26日の「日比谷野音オープナー」まで全ての事業を予定通り実施。延べ15万人が来場。
- ・記念コンサートとして37公演を開催。100年史の制作や記念展示等のアーカイブ事業やHP等を通じたPR事業を実施し、NHKをはじめ多数のメディアで放送。

日比谷音楽祭

- ・「フリーでボーダレスな音楽祭」をテーマに 2019 年より、日比谷公園大音楽堂をメイン会場として日比谷公園全体並びに近隣施設も使用した音楽祭を開催。
 - ・「日比谷音楽祭 2019」は初開催にも関わらず、延べ 10 万人が来場。
 - ・「日比谷音楽祭 2020」はコロナにより開催を中止。急遽、代替取組として同日にラジオの生放送を実施。
 - ・「日比谷音楽祭 2021」もコロナにより無観客生配信での開催。
 - ・「日比谷音楽祭 2022」は 3 年ぶりに有観客にて開催。
 - ・「日比谷音楽祭 2023」は 2019 年以来 4 年ぶりに規制のない中で開催。延べ 11 万人が来場。動画配信サービスでは視聴者数は 15 万人、総再生回数は 23 万回。
- 翌日の情報番組等でも多数取り上げられ、日比谷公園大音楽堂の魅力向上に貢献。



日比谷野音オープナー

- ・令和5年11月25日、26日に開催。ステージ上に日比谷公園大音楽堂ゆかりのアーティストの楽器を本番のライブを再現する形で展示。楽屋では今般の 100 周年記念コンサートに出演いただいたアーティストのサイン等を、また、陳列場では、コンサートの写真パネルや記念コンサートに出演いただいたアーティストのステージ衣装を展示。来場者が日比谷公園大音楽堂ゆかりのアーティストを身近で感じるなど例年と異なった方法で施設の存在を PR。

(4) 施設の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

施設の利用率向上、付加価値向上、サービス向上、再整備等施設の魅力向上に向けた取組として、以下の自主事業等を展開します。

1. 日比谷音楽祭

- ・音楽の聖地「野音」を擁する日比谷公園で令和元年に生まれた「日比谷音楽祭」を、令和7年度も「フリーでボーダレスな音楽祭」のテーマを継承し開催します。
- ・日比谷公園再生整備事業が、令和5年度から開始されたことに伴い、変わりゆく日比谷公園と共存しながら、開催場所を変えるなど柔軟に対応する中で、その魅力を発信していきます。
- ・周辺地域とも今まで以上に連携を深め、更なる地域の活性化と価値の向上に寄与します。
- ・歴史的文化資産を活用したにぎわいと魅力を創出するとともに、当日は日比谷公園に来園できない方々へも、ネット配信により、日比谷公園並びに日比谷公園大音楽堂の歴史、音楽文化を発信します。



2. 日比谷野音オープンデー

- ・令和7年度は「3代目日比谷公園大音楽堂」の最終年度であることから、ラストイヤーを飾る「日比谷野音オープンデー」を企画します。
- ・初代から数えて、100年を超える歴史や果たしてきた役割、存在価値を多くの方々に発信します。
- ・愛着を持つオールドファンから子どもたち、若者たちまで、最後の「3代目日比谷公園大音楽堂」を記憶に留めて頂く楽しいイベントを企画していきたいと考えています。



3. ファイナルコンサート

- ・「3代目日比谷公園大音楽堂」のクロージングイベントとして、令和7年度に「ファイナルコンサート」を実施します。アーティストの方々をはじめ多くのオーディエンスからも長く親しまれてきたとともに、日本の音楽文化の発展に寄与してきた「3代目日比谷公園大音楽堂」の歴史を振り返る中で、日比谷公園大音楽堂ゆかりのアーティストによるコンサートを開催します。
- ・多くのアーティストたちが様々な世界観をつくりあげ披露する聖地・殿堂「野音」を記憶に留め、「4代目日比谷公園大音楽堂」のオープンまで、日比谷で生まれた「誰もが楽しめるユニバーサルイベント」の火を絶やさないよう、有終完美として日比谷公園大音楽堂の魅力を発信します。



上記の自主事業等については、共同事業体からの拠出金をはじめ企業協賛並びに公的助成金やクラウドファンディングを活用の上、実施します。

(5) 共生社会の実現に向けた取組

1. 基本的な考え方

令和元年から東京都と協力連携の上、オリンピック・パラリンピックへの機運の醸成を図ってきました。引き続き、共生社会における、誰もが快適に過ごすことができる公園施設の実現を目指します。

【これまでの共生社会の実現に向けた取組実績】

- ・国内外への人々への心のこもった「おもてなし」
- ・都立公園・施設の魅力を広く国内外に伝える情報発信の強化
- ・イベント等による東京2020大会の機運の醸成
- ・利用者を快くお迎えする施設等の利便性向上
- ・誰もが安心して安全に過ごせる公園・施設の管理

2. 共生社会の実現に向けた多様性と包摂性を高める取組

- ・引き続き以下の取組を実施し、東京2020大会で醸成された「ホスピタリティ・おもてなしの心」やパラリンピックによって理解の進んだ「バリアフリーの推進」等、豊かな都市生活の形成の寄与に努めます。

(1) ホスピタリティ・おもてなし

- ・ホームページを活用して野音で開催される催事、公演等の情報発信強化に努めます。
- ・誰もが安心して安全に過ごせるよう、近隣での重要行事の際には、日比谷公園の指定管理者と連携して、重点巡回や危険物の除去等安全確保活動に協力します。

(2) バリアフリーの取組

- ・改修工事で増設された車椅子使用者用便房等、誰もが快適に施設を利用できるよう各種ガイドライン等に基づき、施設やアクセスのバリアフリー機能の維持に努めます。
- ・客席の「車いすスペース」利用のほか、「車いすの貸出」も可能です。



<車いすスペース>



<貸出用車いす>



<客席バリアフリールート図>

(3) 芸術文化の魅力発信イベントの継続開催

- ・令和元年からスタートした「日比谷音楽祭」は、オリンピック・パラリンピックが開催される令和2年に向けて東京を文化の面から盛り上げるために創設された文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の公式プログラムとして位置づけられ、芸術文化都市東京の魅力を国内外に発信してきました。
- ・この「日比谷音楽祭」を今後も継続開催し、多様な人々が共に、芸術文化を楽しむ機会を創出してまいります。

4 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

1. 維持管理の方針

40年を超える現在の3代目日比谷公園大音楽堂は様々な設備等において、老朽化が進んでおり、再整備までの期間、事故や不具合、故障等を発生させない維持管理を実施することが重要であると考えます。

当事業体は現指定管理者として、これまで蓄積した管理・点検や整備・更新状況のデータをフルに活用し、維持管理の基本である「安全・安心・快適」を重視して業務に取り組めます。

2. 日常管理で重視する事項

(1) 老朽化した設備管理を重点とした維持管理

- ・設備機器類の日常点検、定期保守点検等を通じて危険箇所を適切に把握し、設備機能の維持に努めます。

(2) コンプライアンスの徹底

- ・各種関係法令の遵守や法定点検実施等により作業の安全や施設の安全を確保します。

(3) 日比谷公園との調和を意識した維持管理

- ・公園の緑地と一体性を持つ緑地管理を実施し、景観的特性を活かした施設を提供します。

(4) 蓄積した維持管理履歴を活用した効果的・効率的な業務遂行

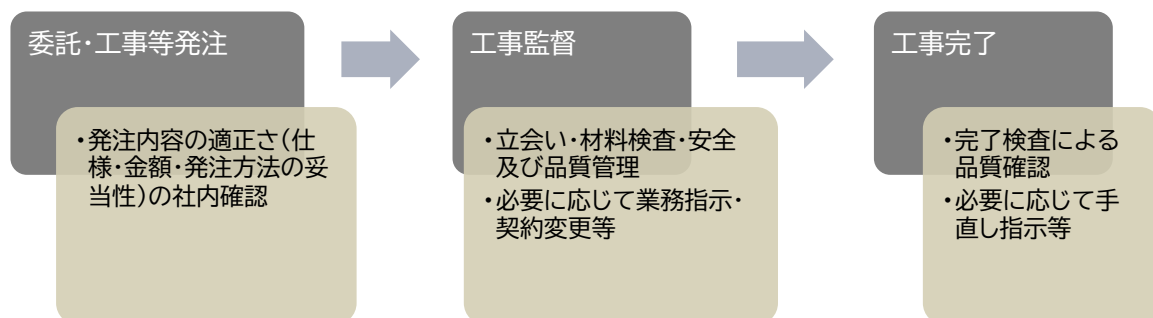
- ・日常的な維持管理事項を含めて履歴をリスト化し、作業項目を明確化して業務を実施します。

(5) 日比谷公園大音楽堂の未来に向けた様々なノウハウの提供

- ・管理運営の視点での再整備計画策定に向け、データやノウハウを適宜提供します。

3. 維持管理の業務管理体制

- ・維持管理の品質確保に向けては、各委託・工事等の発注者である構成団体の責任のもと、①工事発注、②現場確認等工事監督、③工事完了時の完了検査の各段階における業務管理を適正に行います。



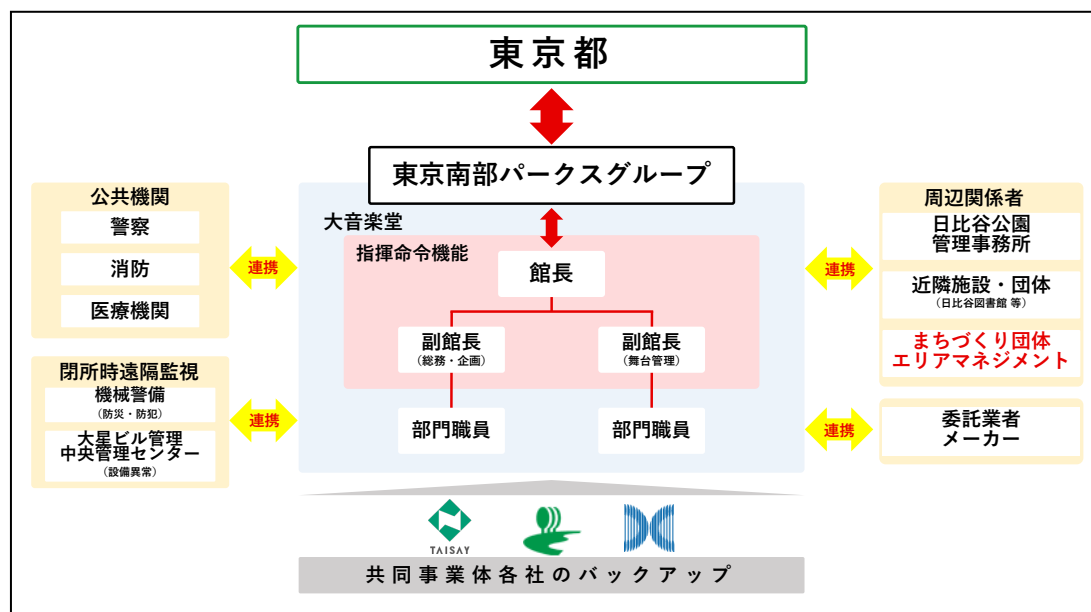
このページは空白です

(2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組

1. 基本的な考え方

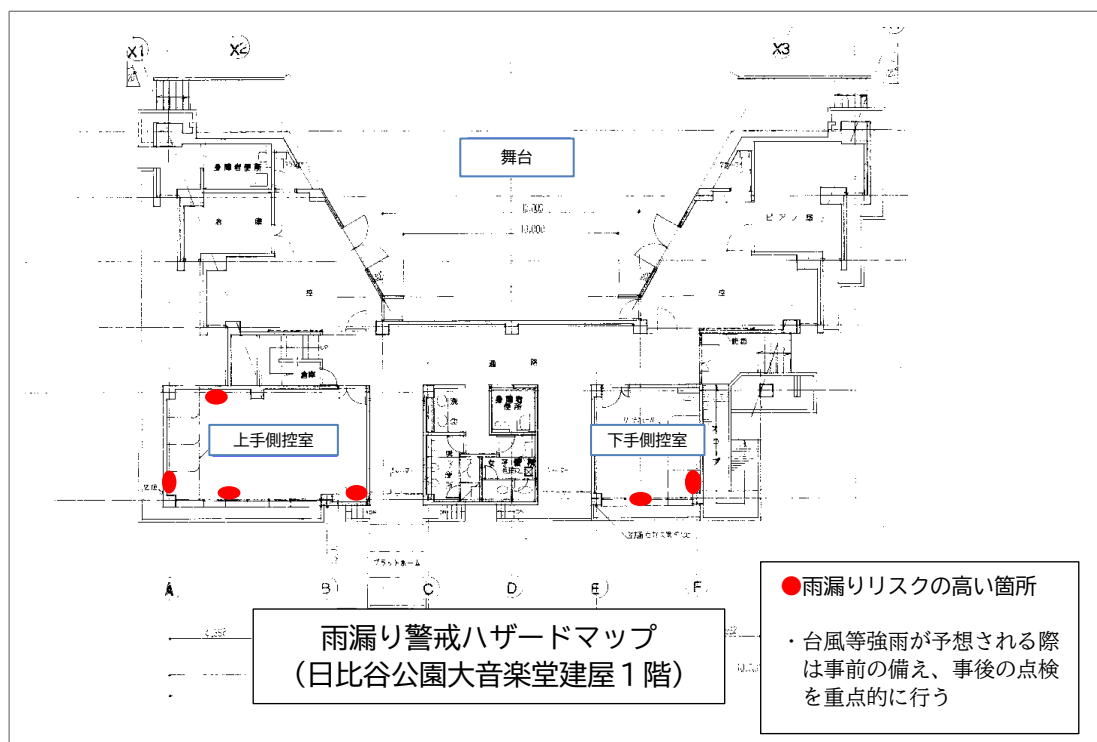
組織的な安全管理体制の構築とマニュアルに基づいた体系的で的確な安全管理により、平常時から事故や災害に備え、事故や災害の発生時には利用者の安全を第一に、タイムラインを活用して、迅速かつ的確に対応します。

【組織体制図】



2. 具体的取組—ハザードマップの作成・活用による危険因子の明確化

- ・ハザードマップや図解した設備劣化状況などを活用し、配置転換等による業務停滞を防止するとともに個人技能を組織力に結集することで、業務の継続性と質の向上を図ります。



3. 具体的取組—タイムラインの作成・活用

【気象災害対応のタイムライン】

事前の備え		早期警戒	注意報・警報 (気象庁)	被害発生	復旧
東京南部 P G	日比谷公園大音楽堂	① 気象災害を想定した特約店との協定 ・災害時の速やかな復旧作業のため、造園、電気、設備等の専門事業者と緊急時における特約店契約を公園毎に締結	④ 災害対策本部の設置 ・気象災害対策計画により、警報発令時等には災害対策本部を迅速に設置	⑤ 関係部署との情報共有 ・東京都をはじめ、SCや災害特約店事業者等と連絡体制を築き、情報を一元管理	⑥ 被害状況の把握と安全の確保 ・被害状況の把握と危険箇所の立ち入り制限、倒木やがれき処理、通行可能園路等の確保及び情報発信等の初動対応を迅速に実施 ⑦ 災害対策本部による指揮 ・災害対策本部を中心に組織一体となった体制をとり、迅速な人員の集中投入や応急措置を実施
		③ 気象情報会社と連携した情報収集 ・局所的集中豪雨や落雷等の気象情報を自動で関係職員に配信し、放送や巡回を通じた注意喚起など迅速な対応を実施			
		② 緊急配備体制の確保及び事前の取組 ・「大雨、風害」と「雪害」ハザードマップを活用した事前点検及び排水性の確保や危険枝除去等を行い、災害を未然に防止 ・冠水被害履歴箇所の排水改良・浸水対策を実施			⑧ 復旧作業 ・甚大な被害の本格復旧に向けては、東京都と連携

【震災対応のタイムライン】

訓練等の事前の備え		被害発生	復旧
東京南部 P G	日比谷公園大音楽堂	発生～1時間 初動体制確立期 発生～72時間 即時対応期	⑥ 復旧作業 ・甚大な被害の本格復旧に向けては、都の指示に従って実施
		① 震災対応訓練の実施 ・公園協会震災対応マニュアルに基づく定期的な訓練の実施により、発生時に円滑な防災対応が可能 ・地元区との協力協定締結や自治会や各種団体と連携した防災訓練を実施 ② 災害対策本部立ち上げ ・震度6弱以上等、都の体制に合わせ、本社または代々木公園に立ち上げ ③ 情報連絡体制の確保 ・公園協会震災対応マニュアルに基づく、非常配備態勢の整備、情報連絡体制を確保、都へ報告 ④ 現状把握 ・ライフライン機能の状況把握と復旧作業を実施し、避難者へ情報提供 ・園内の被害状況を把握し危険箇所については立ち入り制限措置、被害状況を報告 ⑤ 被害への対応 ・被害状況を整理し、緊急度に応じた行動計画を立て、都と連携した被害対応を実施	

【感染症対応のタイムライン】

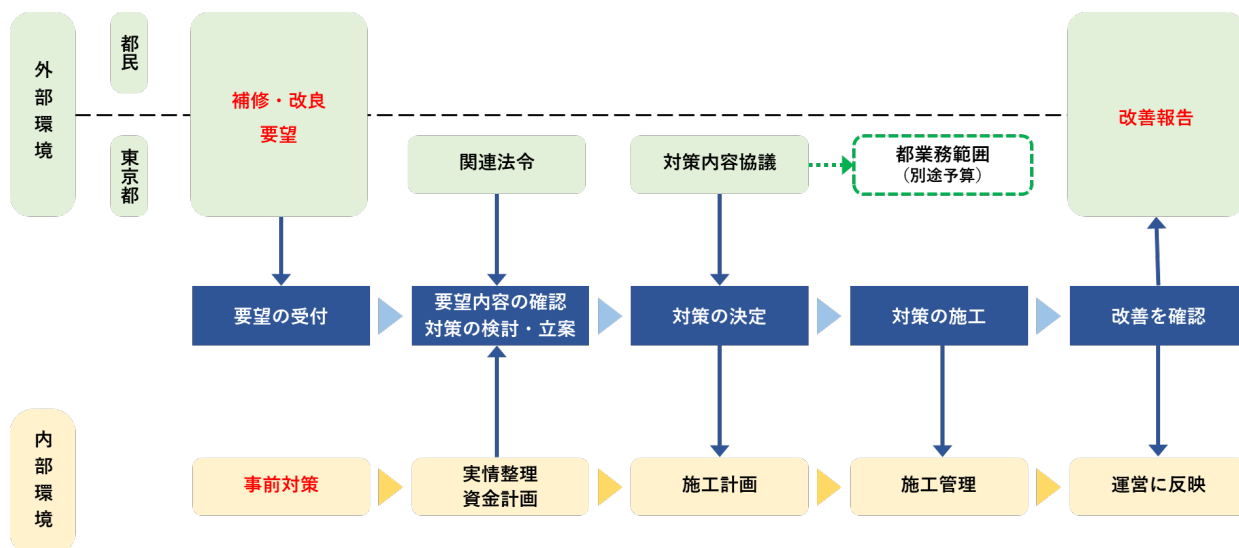
海外発生期		国内発生早期	感染拡大期
東京南部 P G	日比谷公園大音楽堂	① 情報収集 ・都や関係機関等から情報収集し、公園の管理運営上のリスクを分析 ② その他感染症への予防対策 ・蚊媒感染症（デング熱等）に備え、側溝・集水桝の清掃及び薬剤散布による、蚊の発生を抑制 ・鳥インフルエンザやマダニ感染症等の人獣共通感染症や、ヒアリなど外来生物による健康リスク対策については、関係機関からの最新情報を収集し、注意喚起など適切な対策を実施 ・病原菌等による健康リスクに対しては、適切な施設の衛生管理及び、手洗いや除菌等の注意喚起を実施	③ 感染拡大防止策の実施 ・都や関係機関等からの有効な対策方法を把握し実施 ・都や関係機関等からの指導等に基づき、利用者への注意喚起等を実施 ④ 社会的に重大な影響を及ぼす感染症の拡大防止 ・密閉・密集・密接の三密対策を徹底し、マスク着用などの注意喚起や東京都の指示に基づき施設の利用調整を実施 ・利用者や職員の感染確認時は、保健所や都の指示に基づき、調査連絡体制の確保や施設消毒、施設利用調整等を迅速かつ的確に実施 ・窓口での飛沫防止シートや消毒剤等の衛生備品の設置 ⑤ その他感染症への対応 ・蚊媒感染症発生時は、都と連携し、側溝や植込の消毒、施設利用調整、注意喚起等を迅速・的確に実施 ・人獣共通感染症や外来生物・病原菌等由来の健康被害発生時は、マニュアルに基づき都や関係機関と連携し被害者対応と拡大防止の的確な処置を実施

(3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組

1. 補修・改良要望に対する考え方

当共同事業体は、都民や東京都からの補修・改良要望への対応をはじめ、施設機能の維持と利用者の快適性・利便性の向上を目的とした東京都への改善提案を行ってきました。

音楽文化の発信拠点としての資産価値およびブランド価値の向上の視点からも、今後とも補修、改良に取り組んでまいります。



2. 過去の実施事例を活用した受付体制の構築

- ・中長期修繕計画や日々の維持管理を通して、補修・改良要望が寄せられた際に備えて、項目特定と対策の事前検討を今後も継続して実施し、要望の受付体制を構築し円滑な対応と改善策の充実を図ります。

3. 要望内容確認・対策検討

- ・受付けた要望は全て、安全確保と施設機能の確保を優先に関連法令遵守の下、対策を検討・立案します。
- ・受付けた要望を「緊急案件」「通常案件」の優先度レベルで分類し、円滑に対応します。
- ・資金計画については、緊急対応等経費、施設修繕費などを利用して効率的かつ効果的な予算執行をします。

優先度レベル		対応姿勢
緊急案件	○利用者の安全や通常利用に支障があるもの	・即時、安全確保。必要に応じて専門業者による応急措置工事 ・迅速に対応可能な工法を費用、工期も考慮して選定し、工事等実施 ・大規模な案件については、東京都に緊急協議し方針決定
	○事故報告対象のもの 等	
通常案件	○要望が多いもの	・適切な工法、費用、工期（利用制限）等を検討し、工事内容を決定し、随時工事等実施 ・大規模な案件については、東京都と方針・役割を協議。必要に応じて、改修要望を提出
	○緊急案件に該当しない補修・改良等	

4. 対策の決定・施工、改善の報告

- ・東京都と協議の上で、対策が決定された場合には、極力利用に支障のない工程を計画し、適切な施工を行います。また、工事の実施後には遅滞なく東京都へ報告するとともに、適宜掲示板等で利用者に周知します。

(4) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

1. アーティストにとっても、観客にとっても快適な緑の空間づくり

公園は都市における貴重な緑のオープンスペースであり、日比谷公園内に位置する当施設においても、客席の高木や西側の植え込み等、日比谷公園と一体となってつくり出す緑地景観は、都市の生活の質の向上、季節感などの潤い、美しい景観をもたらす役割を担っています。

また、演奏するアーティストにとっても、このような公園と一体となった緑に囲まれたステージは、パフォーマンスを披露するうえで、他にはない爽快で気持ちの良い空間との声も多く、都心においては唯一無二の環境といえます。

日比谷公園大音楽堂の緑を「東京グリーンビズ」で目指す「まちのシンボルとなる緑豊かな空間」の一つとしてとらえ、ステージ、客席の双方の視点から緑の景観の魅力を発揮させる維持管理を行い、緑のネットワークの一員として、東京の緑の多様な機能の発揮に貢献いたします。

(1) ステージから見える魅力的な緑の景観づくり



ステージからは背景の日比谷公園の樹林と、客席の高木が一体となり、客席から奥に森が広がっているかのように見えます。日比谷公園の指定管理者と連携し、この奥行きのある景観を維持するとともに、従来期待されている遮音、遮閉の効果も発揮できるよう、剪定方法等に配慮した適切な維持管理を継続していきます。

(2) 客席から見える魅力的な緑の景観づくりと安全・安心・快適な樹木管理



客席からもステージの背景に樹林が広がり、奥行き感の演出に役立っています。ステージ、樹林、背景のビルが一体となった都会的な景観を意識した樹木管理を、日比谷公園の指定管理者と連携し実現します。また、客席の直上に樹林地があるという特性に配慮し、従来どおり、枯損による落枝の防止に努め、安全・安心を提供します。